

「『目指す子ども像』を実現するための手立て・工夫」

R3.4.28 校内研②（グループ協議）

	問題提示、発問、見通し	誰もが活躍できる場	安心して学習、発表できる場	レベルアップ	教師の接し方・雰囲気	視点提示・モデル	実態把握・個に応じた指導
低	問題提示の順番の工夫 子どものつぶやきをどんどん拾う 文章・絵・映像などの資料の準備 視覚に訴える教材の工夫 ゴールに導く発問の工夫			ちょっと背伸びすれば できる目標を細かく設定 学んだことを生かして 少々ハードルの高い問題を提示 個に合った発展問題を用意 生活の中で問題を作る	児童の発見に大きさに驚く 褒めごろし 意欲喚起	友達の発言を聞く視点を提示する 多角的な見方をおさえる 目のつけどころを与える モデルを見せる	基礎基本はしっかり教える必要あり スキルアップの時間を設ける 基礎基本の定着
中	最近の出来事などと結びつける 導入の工夫 学習全体の見通し 日常生活での課題から導入 興味を引く導入 クイズやゲームを取り入れる	一人ひとりが活躍できる場 他人任せにせず 一人一人が考える場の設定	認め合える・安心できる場 褒めたり応援したりする 分からないことは「分からない」といえる 「間違ってもいい」雰囲気 失敗や間違いも認める 教師も一緒につぶやく 教え合いながら、一緒に知る	個人のゴール（めあて）を明確に 自由な時間の確保 解き終えた子は ステップアップの問題を 取り組ませる	面白い話術 笑顔で授業 先生もスマイル 上下関係を崩さない程度の フレンドリー		
高	提示・発問・板書の工夫 身近なものを課題として取り上げる わかる授業（発問、指示、板書） 教材研究（多様な考えに対応） 板書を記録し、前時を振り返る 視覚的に提示 具体物を大切にメディアと組み合わせる	自分の考えを持たせる 考えをもって参加させる ノートやタブレットに 自分の考えをもつ ノートを個々のタブレットに 写し出し、材料を共有して 話し合う	認め合う雰囲気 誰もが参加できる授業（安心して発言） 認め合う学級づくり 一人ひとりが認め合える いつでもどこでも話し合える雰囲気 異質集団での話し合い	振り返り・自己の成長 自分の成長を感じる場の設定 毎時間の振り返り 自分の成長を俯瞰する 成長を見るために 蓄積できる物を作る	教師の授業力 講話にならない 教師のスキルアップ	話し合い方・まとめ方 考えの整理の仕方を知らせる （比較、分類、関連づけるなど） 考えの整理の視点を与える 話し合いの意義を理解させる モデルの提示	個に応じた指導 その子のレベルにあった課題
特	課題設定・見通し 子どもが目を開かせる教材・課題づくり 視覚的な手立て テンポのよい授業、課題設定 教師が先にルールを提示する 見通しを持たせる 授業の流れのパターン化		安心感 失敗が自分の宝になることを体験する 失敗しても恥ずかしくない環境 成功体験に導く 「すごい」「やった」など 言葉のシャワー 失敗しても安心して話ができる環境 できたこと・頑張っている過程を褒める 褒められていることが 視覚的に分かる評価		笑顔で接する 笑顔		実態把握 児童の性格、特性、学力を知る 本人や周囲の障害に対する理解を深める 個に合わせた教材教具の準備 前学年の学習が振り返られる （九九表が横にある） 基礎基本の定着 同じ問題を何回も解く フラッシュカード（4年生都道府県） 計算カード（たし算、ひき算） 言いたいことを一緒にみつける